

## 新しい庁舎で目指したこと

### 災害に強い安全・安心な庁舎

- 地震時の被害が最小限とするため免震構造を採用
- 津波や水害などに備え、電気・機械設備や災害時用の自家発電機設備を最上階に設置

### 誰もが利用しやすい庁舎

- 利用者の多い戸籍、保険年金、税務の窓口を2、3階に集約し、区民の皆様の利便性を向上
- 区民の皆様の目的別に「窓口番号・やること・色」で示したわかりやすいサイン計画
- 多目的に利用できるトイレを各階に設置、子育てする人に配慮した調乳室・授乳室を1・3・5階に設置

### 自然環境に配慮した庁舎

- 地中熱を利用した空調設備や太陽光発電の活用など、省エネルギー化を図る設備を採用

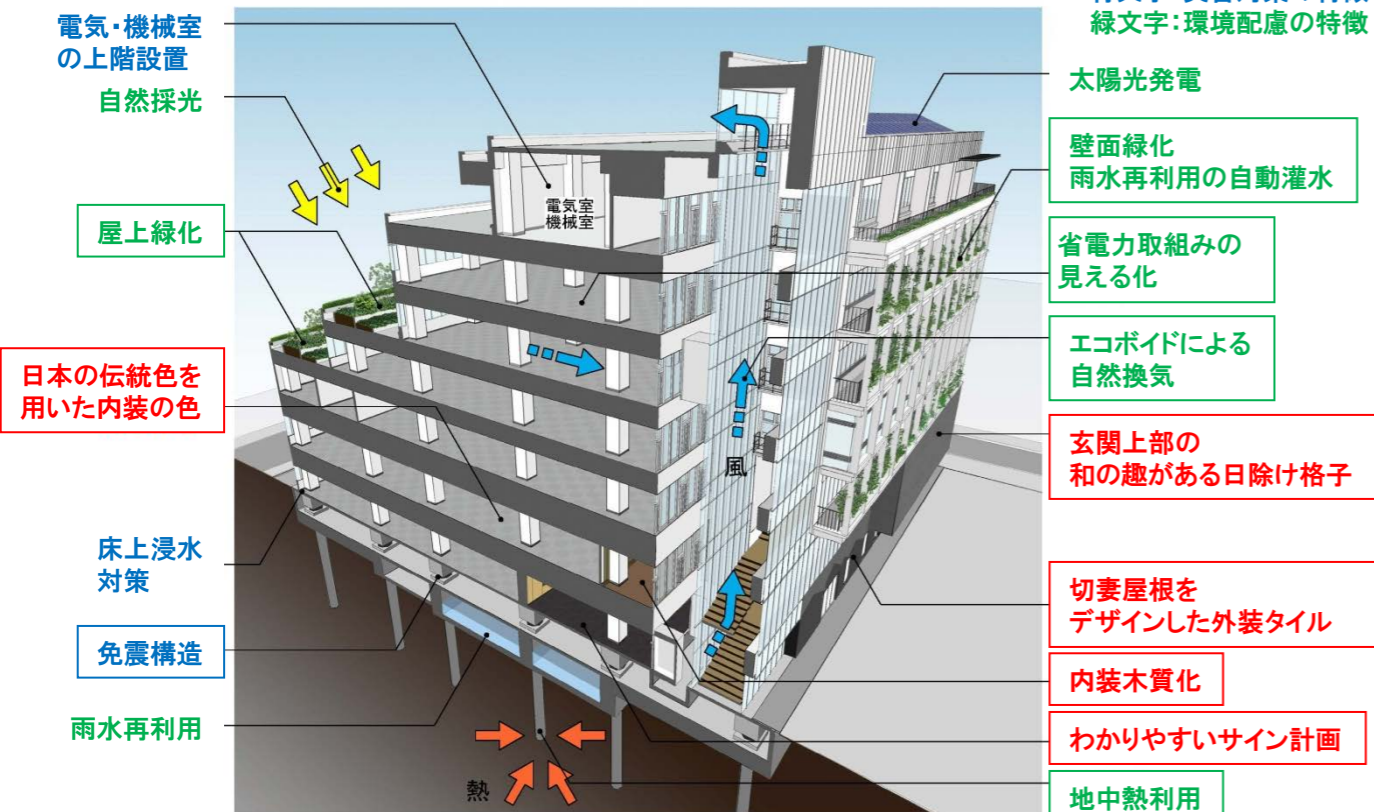
### 交流の場となる庁舎

- 2階に区民活動センター、区民ギャラリー、国際交流ラウンジ、多目的室を集約し、区民の皆様の活動をサポート
- 新しい泥亀公園（平成30年度完成予定）と一体となった庁舎とし、交流が生まれる空間を創出

### 金沢区の地域性を創出する庁舎

- 鎌倉時代からの歴史にならない、和の趣を感じるデザインや工夫を採用
- 金沢区内で見られる樹木や花木を敷地内に植栽

## 新庁舎の特徴

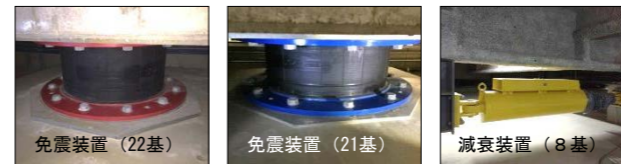


⇒ 四角で囲った特徴を「新庁舎八景」として詳しく紹介します。

## 新庁舎八景

### 1 災害に強い免震構造

免震構造とは、建物と基礎の間に免震装置（アイソレーター）と減衰装置（オイルダンパー）を設置し、地震の揺れを建物に伝えない構造です。この建物は、2種類のアイソレーターと1種類のオイルダンパーを地下ピット内に設置しています。



### 3 和の趣のあるデザイン

外壁のタイルで連続する切妻屋根を表現し、玄関上部に縦格子を用いています。また、東西2つの内部階段の踊り場の壁やトイレ廻りの壁には、日本の伝統色を用いています。



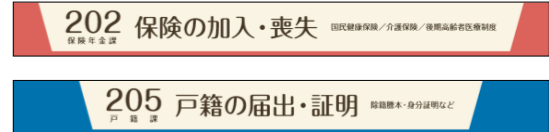
### 5 緑豊かな金沢区らしい植栽

地上部は四季の花や紅葉のきれいな中高木を中心に、金沢区の里山に見られるオオシマザクラをシンボルとして植栽しています。屋上部は区内の生態系をつなぐ小緑地として、小鳥や昆虫などの食餌になる実や花の咲く植物を植栽し、壁面部はつる植物による緑化を取り入れています。



### 2 わかりやすいサイン計画

建物内のサインは「窓口番号」「業務目的（やること）」を「色」で示し、わかりやすさを心掛けています。男女トイレや多目的トイレ、調乳室・授乳室は、ピクトサインでわかりやすく表示します。



### 4 木の温かみのある内装

国産材を利用した格子や、国産材を基盤に利用したフローリングにより、木の温かみを感じることができ空間を、区民利用の多い2階に創出しています。



### 6 エコポイドによる自然換気

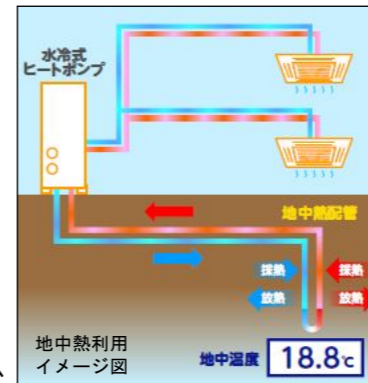
冷暖房が不要な外気温度等をセンサーが感知すると、執務室天井に設置してあるエコランプが点灯します。ランプ点灯時は窓サッシ下から空気を取り入れ、建物中央にある吹抜け（エコポイド）を利用して空気の通り道を作り、自然換気を行います。



### 7 建物の杭を利用した地中熱利用

年間を通じて安定した地中温度を空調に利用して省CO2を図る地中熱利用システムを設置しています。地中熱を取り入れる配管は、建物を支える深さ30mの杭に埋め込んであります。

※水冷式ヒートポンプ水を熱源とする空調システムのこと



### 8 省電力取組みの見える化

庁舎内各所に「見える化モニター」を設置しています。職員に対して、節約意識を高めるために電気・ガス・水道や太陽光発電などの使用量や料金が確認できるようになっています。

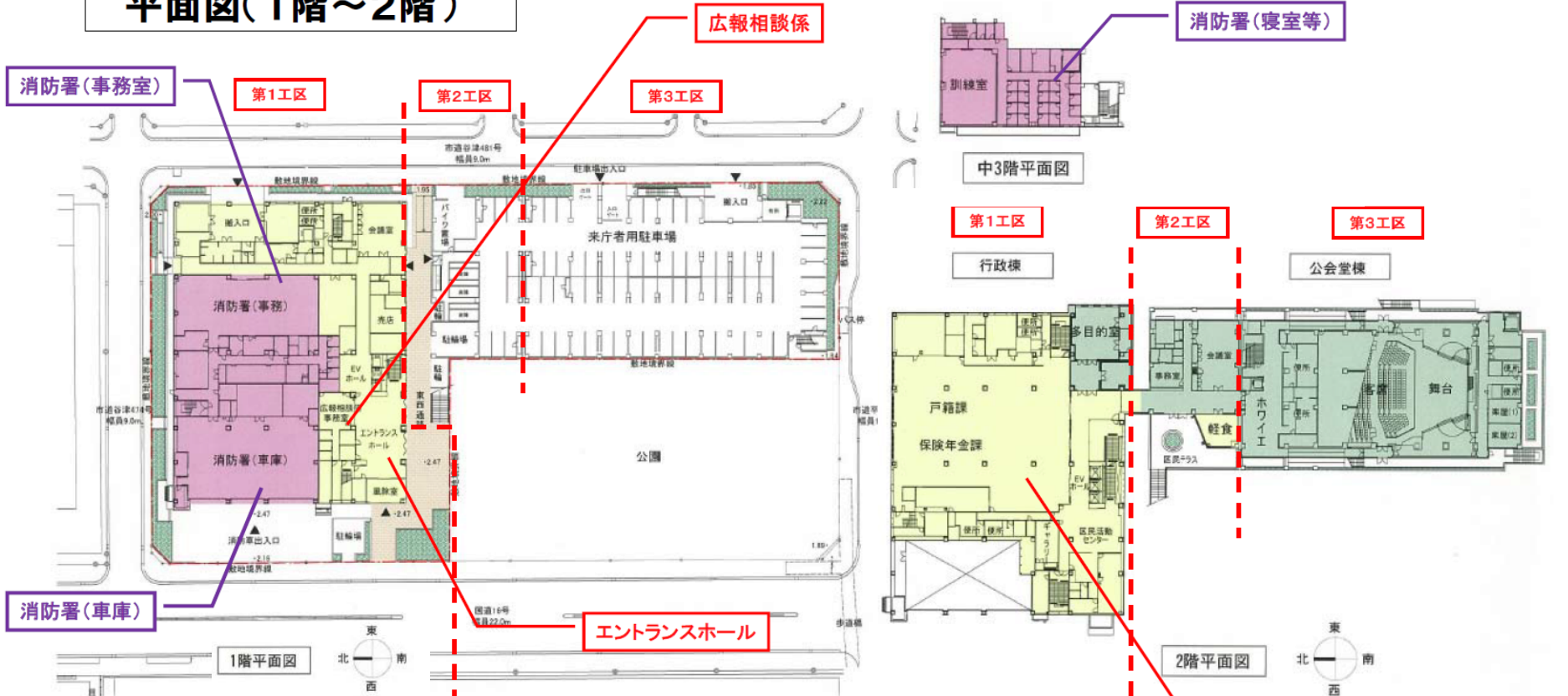
また、外気条件が自然換気に適している時など「お知らせ表示」を行います。

見える化モニターイメージ図





### 平面図(1階~2階)



### 平面図(3階~7階)

